

ゴウ  
黒田剛  
(14)

ミサキ  
藤原美咲  
(14)

—それで  
話ってなに?  
さっさと済ませて

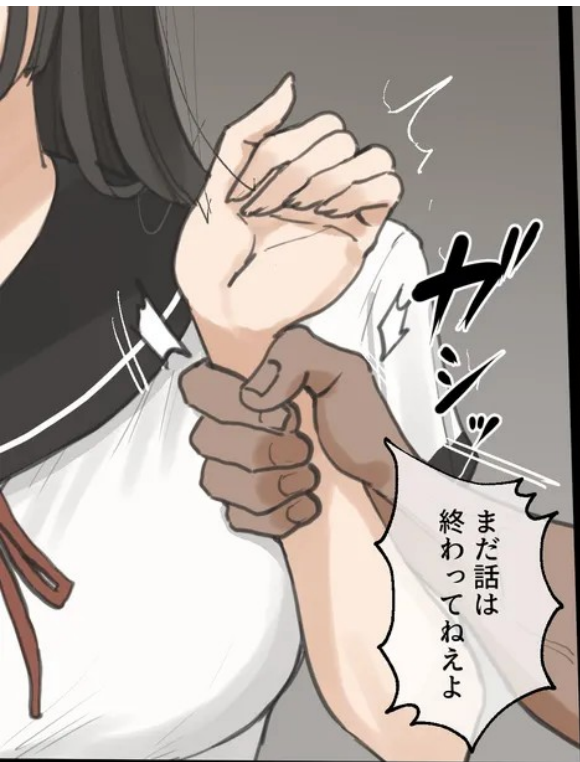
彼氏いねえ  
んだろ?  
美咲

俺の女に  
なれよ

私あなたみたいな  
気安く女子に触れる  
クズに興味ないから

それにタバコ臭い  
離れて  
吐き気がする





ガシッ

まだ話は  
終わってねえよ



もう二度とこんな  
くだらないことで  
呼び出さないで

おっと…  
まだニオウ？

かなり香水  
フったのによ笑



体育館裏だ  
大人しく  
ついてこい

女の喜びつてのを  
たっぷり教えて  
やっからよ



おいこれでも  
優しくして  
やってんだぜ

いやっ…  
放して！



てか胸デカすぎ  
何かツブだよ？

やめろ  
嫌がってるだろ



お前停学が解けて  
2週間も経ってない  
だろ？



ぶん殴られる  
前によ笑

はっ雑魚は  
引っ込んでけ

優斗！



今やめるのが  
身のためだ

ユウト  
佐藤優斗  
(14)



また学校に  
呼び出されても  
いいのか



もう一度停学  
くらってみろ  
次は退学処分だ

そういえば：  
お前の父親かなり  
厳しそうだっとな：  
たしか軍に勤めてる  
んだっけ？



このクソ野郎  
がッ!!

モブどもに少しチャヤホヤ  
されてるからって  
調子乗ってんじゃねえぞ  
アアン?!

お前こそっ…  
校内でしか  
イキれない  
雑魚だろっ…

口だけは達者だな  
このクズがッ!



ははっ…  
そうやって  
すぐ手を出せば…

強く見るとでも  
思ってるのか?

てめえ…

マジで殺されたい  
らしいな…?

子供の頃から  
誰よりも強く  
なりたかった…  
だけど  
俺は病弱だった



ムキになれば  
なるほど…  
弱く見えるぞ…

そんなにケンカ  
売りたいなら  
アタシが買って  
やるって

ガ  
シ

スパarrings  
したいなら  
いつでも来な

うんざりするほど  
付き合ってるからさ!

リョウコ  
高橋涼子  
(15)

だから俺が選んだ道は  
俺なりのやり方で  
誰にも文句を言わず  
認めさせること

常に学業では  
トップの成績を  
維持し続けた上に

グ  
ッ

ぐう…

これ以上  
醜態晒したく  
ないなら  
タツシな

クソがアツ!

涼子…  
もういい…  
大丈夫だから

え?  
あ…  
うん…



おい剛!!  
またお前か?!  
今すぐ職員室に  
来い!!

誰がためえの指図  
なんか受けるか  
このハゲ

な...なんだと  
この礼儀知らずが!!

おい優斗...  
これで終わりだと  
思うなよ

だけど...  
その時の俺は  
知らなかった

いつか必ず  
叩き潰してやる

このガキ!!  
明日保護者を  
連れてこい!

あーあ残念  
やつと面白く  
なってきたとこ  
だったのに

俺たちの  
悪縁は

まるで  
運命みたいに  
断ち切れないもの  
だったことを...



ああ  
そうなんだ

ええ…  
一度連絡して  
あげなさい

それと…  
担任の先生とも  
お電話したんだけど  
あの子…黒田くん  
学校辞めたそうよ



あの子は昔から  
変わらないわね…  
小さい頃から  
いつも優斗のこと  
実の姉みたいに  
守ってくれて…

涼子ちゃんから  
心配だって  
連絡があったわよ…  
あなたが  
電話に出ないって



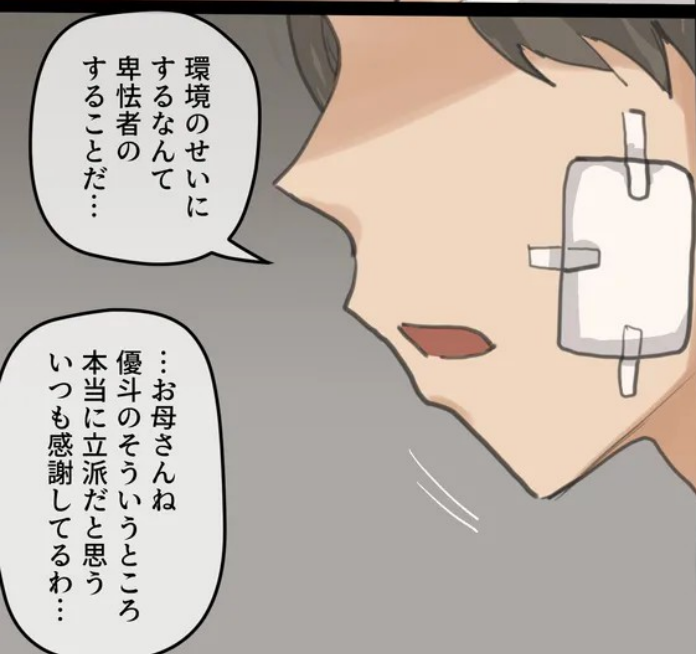
全部アイツ自身が  
やってきたことだ  
なら全ての責任は  
アイツにある

ユカ  
佐藤由佳  
(33)

なんだか可哀想ね…  
ちゃんと面倒を見て  
もらえなかったの  
かしら…

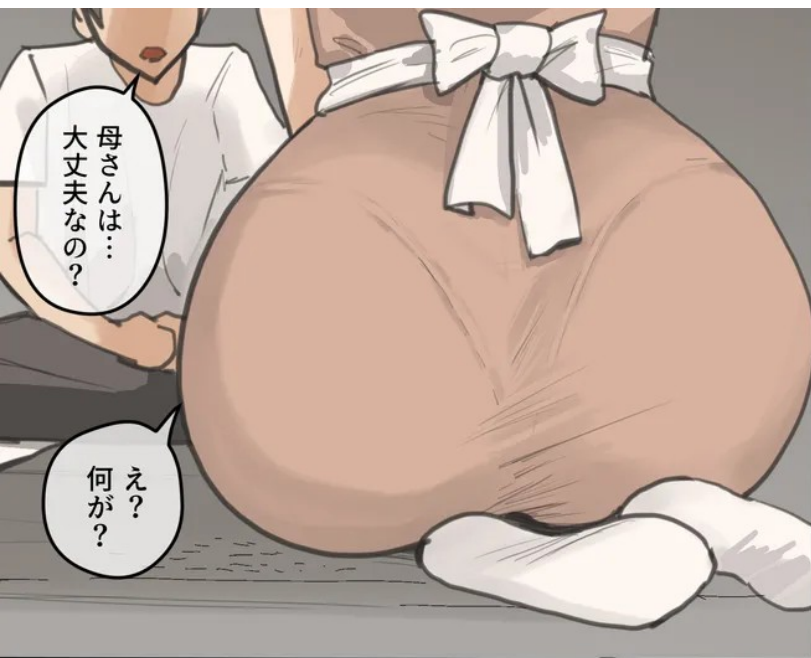


そういえば  
あの子も  
お父さんと  
二人暮らしだって  
聞いたわ…



環境のせいに  
するなんて  
卑怯者の  
することだ…

…お母さんね  
優斗のそういうところ  
本当に立派だと思う  
いつも感謝してるわ…





あ…  
そ…  
そ…  
の…



こんな  
遅い時間に…  
どうやって  
来たんだ？

お礼なら  
学校で十分  
聞いたけど…



あそうだ…  
これ…

桃のジャム…  
私が作ったの…

本当…？  
ありがとう  
大事に食べるよ



怪我…  
大丈夫か  
心配で…

もじもじ



美咲お嬢様  
もう遅い時間です  
そろそろお戻りを

あ…  
はい…



…好きだ

ドキッ♡



美咲



そ…  
それじゃ…  
また明日…



おーい優斗!  
アタシのこと  
待ってたのか?  
カワイイ奴め笑

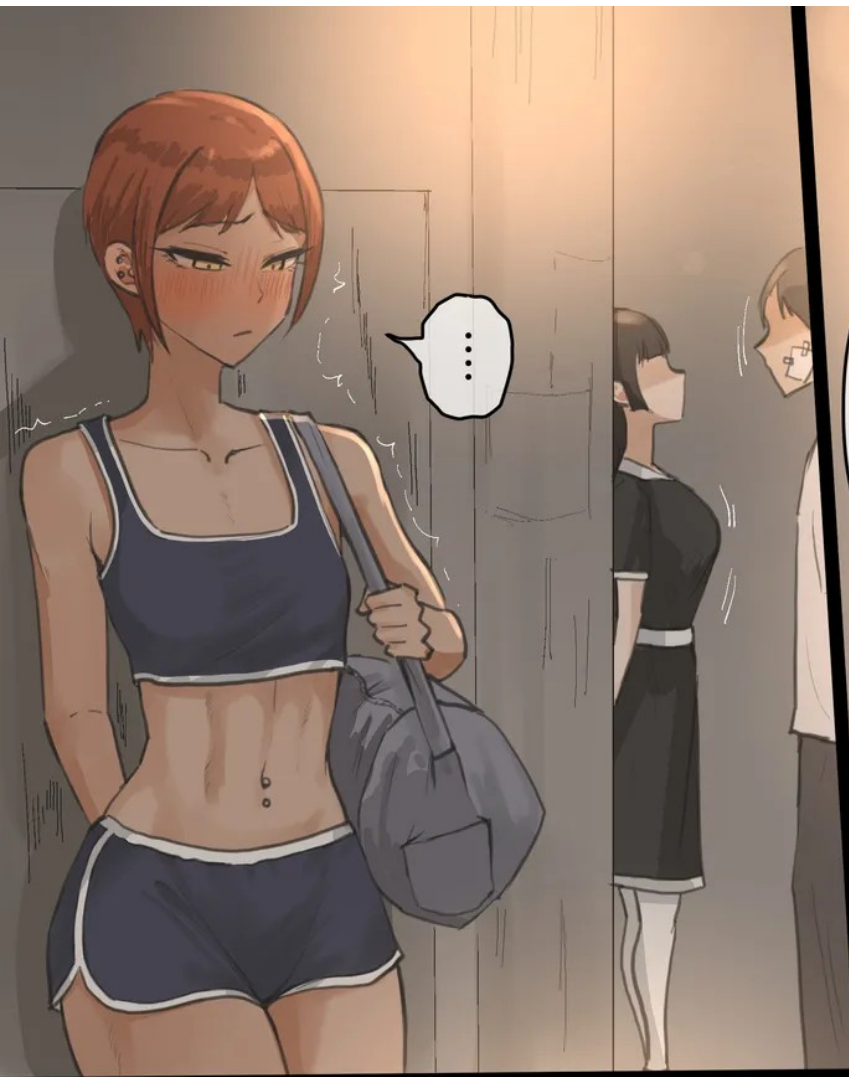


お礼なら  
明日ジュース  
でも…



ん?  
優斗?

ドキッ♡



...

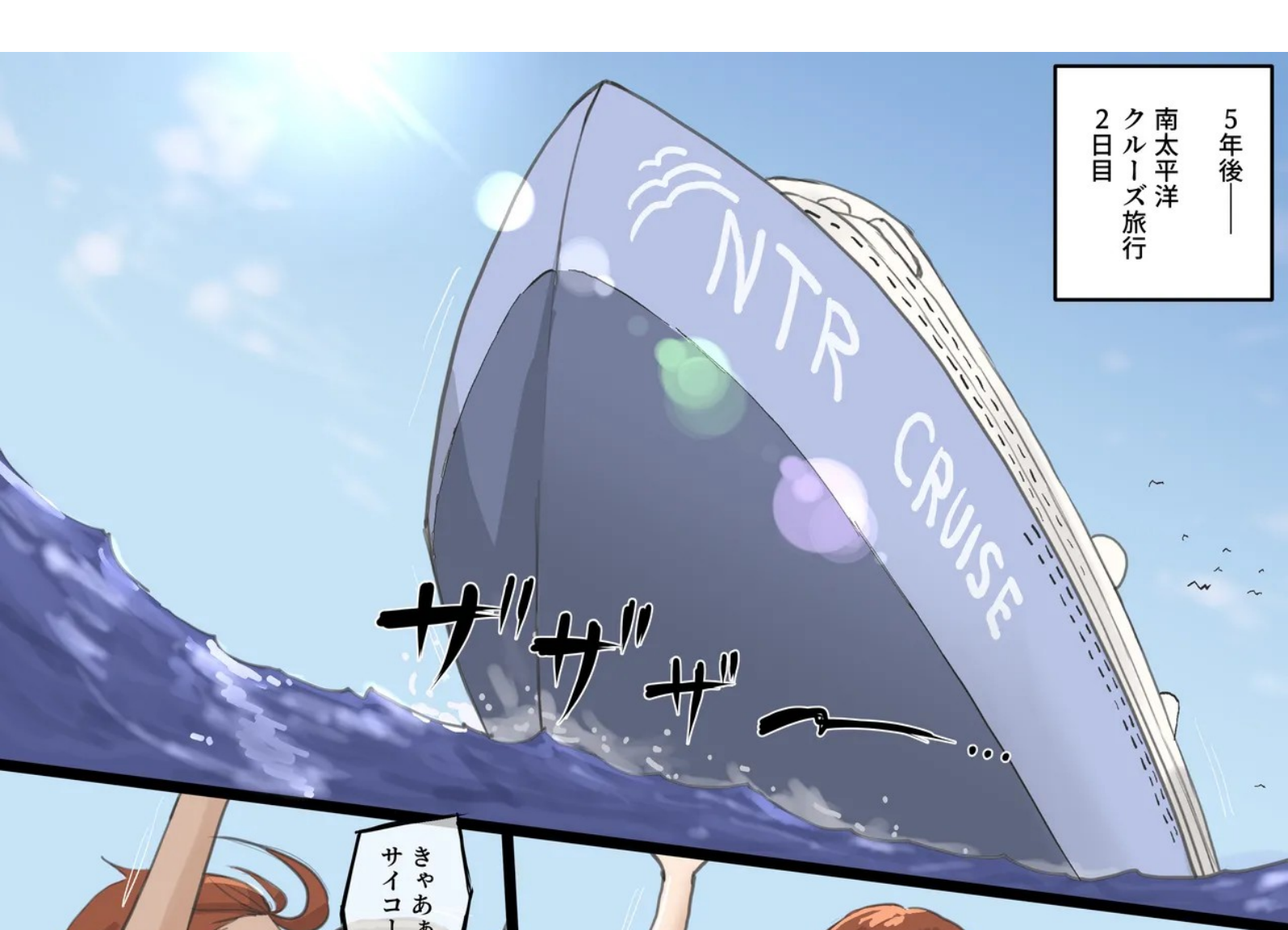


私が先に言おうと思ってたのに...

もっっ...



5年後—  
南太平洋  
クルーズ旅行  
2日目



ザザザ

きやあああ!  
サイコー!!





はあ：優斗!!  
シラけること  
言わないの!  
アタシが直々に  
スタイリング  
したんだから

自分の理想を  
俺の母親に  
押し付けるの  
やめろ



いくらなんでも  
母さんの水着  
大胆すぎないか  
...?

私は  
気に入ってるわよ?  
久しぶりに  
昔を思い出すし:  
フフフ



おばさま  
すごく綺麗で  
ずっとお若く  
見えます

あらほんと?  
ほら優斗  
美咲ちゃんも  
褒めてくれてる  
じゃない

ほんとセンスない  
なんでこんな奴が  
美咲の彼氏で  
いられるのか  
理解に苦しむわ

うっ:  
うるさいな!  
それより  
明日滞在する  
島の計画  
立てようぜ



なんだとっ?!  
アタシが  
貧乳だって  
言いたいの?!

な：なんで  
そうなんだよ?!



めっちゃ面白そう！  
ニュージージーランドの  
火山ツアーも楽しみ！

筋肉ムキムキの  
イケメンも  
たくさん…？  
ムフフ…



てことは…  
私たちは今  
この辺りかな？

うん  
たぶん明日は  
この島に  
一日滞在して

明後日には  
ニュージージーランドに  
入る予定らしい



ちょっと優斗…  
二人きりの時も  
そんなつまらない話  
ばっかしてるワケ？

私たちは  
退散するから  
美咲ちゃんと  
暑い時間を  
過ごさないな…



そういえば  
この地域って  
火山がすごく  
多いのね

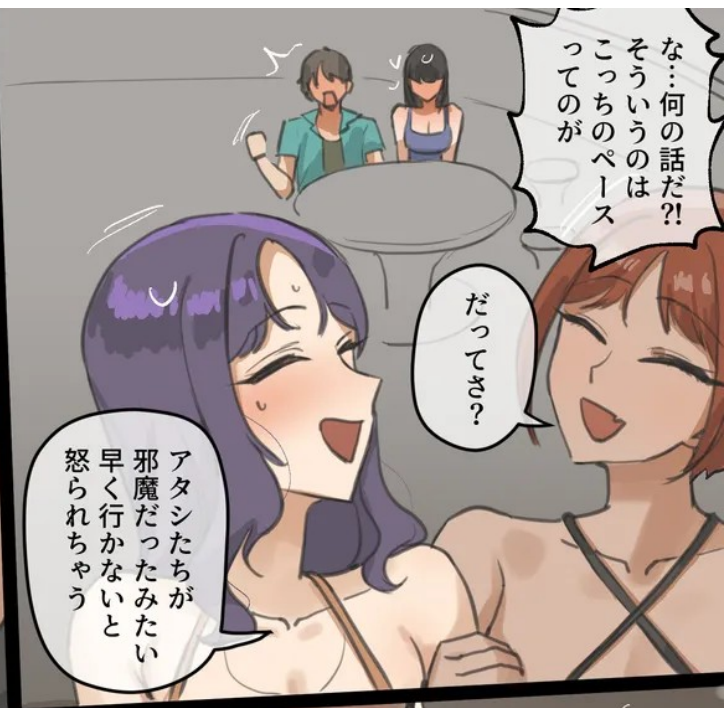
この近辺は  
プレートが  
ぶつかり合う  
場所だから…

あっそうか！  
授業で習った  
環太平洋火山帯  
ってここなんだ…



きやつ...

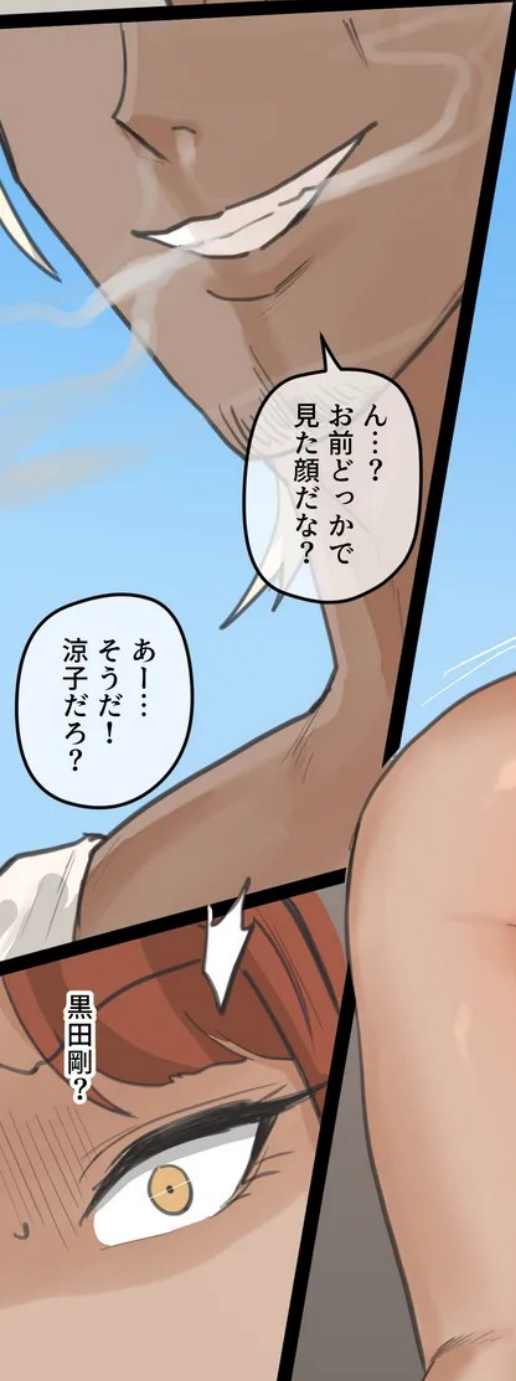
ご...  
ごめん  
なさい...



な...何の話だ?!  
そういうのは  
こっちのペース  
ってのが

だってさ?

アタシたちが  
邪魔だったみたい  
早く行かないと  
怒られちゃう



ん...?  
お前どっかで  
見た顔だな?

あ...!  
そうだ!  
涼子だろ?

黒田剛?



どこに目つけて  
歩いてんだ?

にしても…  
こんなところで  
会うとはな

このっ…!  
いきなり  
何すんのよ!!

おっ…美咲か  
相変わらず  
イイ女だな笑  
結局優斗と  
くっついたのか  
ウケるな

そんで  
こっちの女は?  
お前らの姉か?

こりやまた  
暴力的な  
パイオツ  
してんなあ

おいっ彼女は  
優斗のお母さんだ  
言葉に気をつけろ!

は?  
優斗のお袋?  
マジかよ笑

な…何  
この硬い身体…  
本当にコイツ  
あの黒田なの?

コイツ…  
見ない間に  
随分とデカく  
なったじゃない

フー…



息子とは違って  
情熱的っすね笑

モゾ  
モゾ

ギンギンに  
なっちまった

アンタ頭おかし  
いんじゃないの?!  
セクハラだから!!  
今すぐ謝りなさい!

ったく:  
うるせえ  
まな板だな  
笑

もしかして  
この子が:  
あの時学校を  
辞めた...?

想像していたより  
ずっと危険な雰囲気:

んだと?!

これだけ  
無茶苦茶なら  
関わらない方  
がいい:

もういいわ  
行きましよう  
涼子ちゃん:

ああそうだ:  
あのスパイの話  
まだ有効か?

コイツ:

その手を  
放せ!!  
黒田!

乗客の皆様は船長より  
お知らせいたします  
ただいま近隣海域にて  
大規模な地震が発生  
当海域に津波警報が  
発令されました

緊急事態発生！  
緊急事態発生！

ただちに客室へ  
お戻りください  
甲板への移動は  
固く禁止いたします

もう一度  
彼女たちに  
触れてみる  
次は……

なんだよ  
この海流の動き……！

え？  
いきなり何  
津波？

乗組員の指示に従い  
救命胴衣の着用準備を  
してください！  
繰り返し申し上げます

ははっ……  
ドッキリか  
なんかだろ……

緊急事態発生！  
緊急事態発生！

これって……  
もしかして……  
とんでもない……

キャー  
うわあああ……！！  
あ……あれっ！

ザー  
ザー  
ザー





!!

ドドドドド



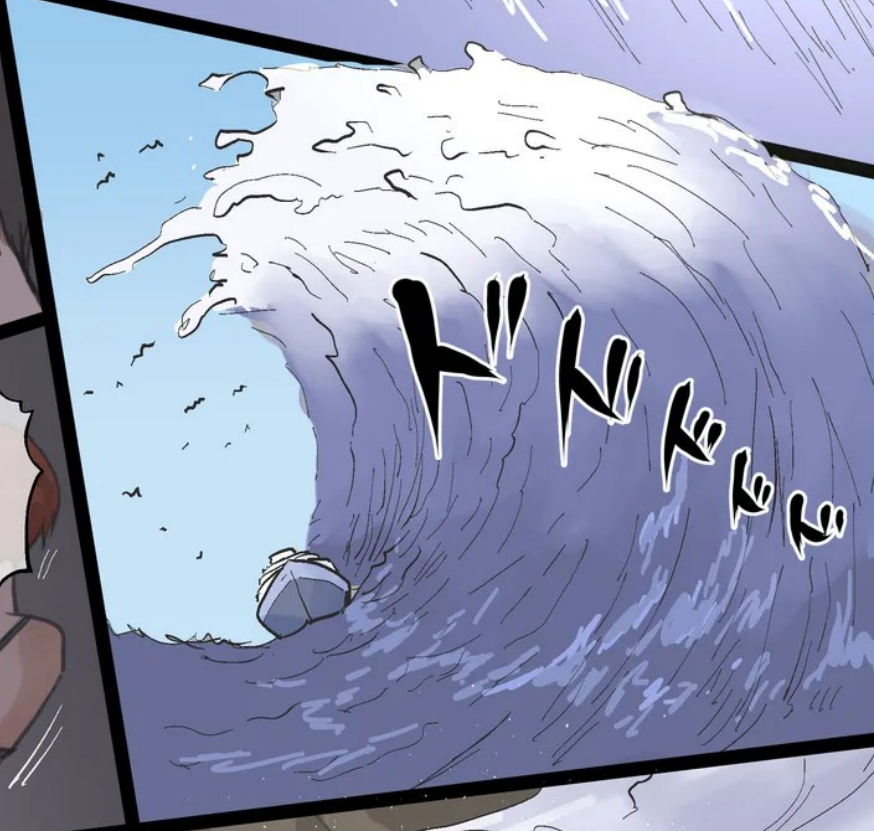
クソッ!  
もうこんな  
近くは?

!!  
優斗!

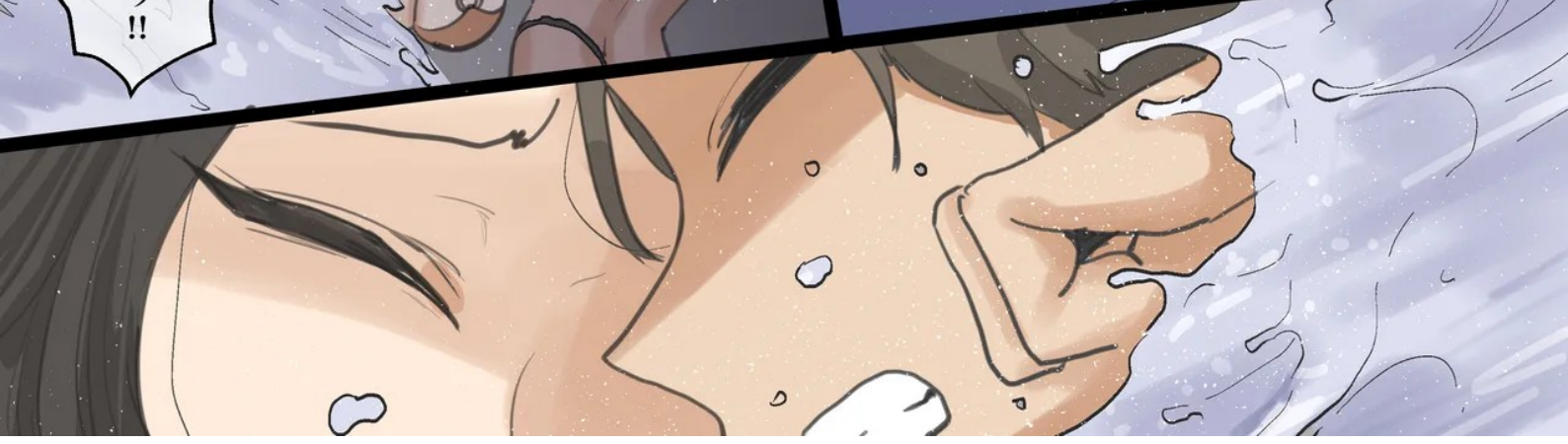


母さんッ!!

涼子姉ッ!!

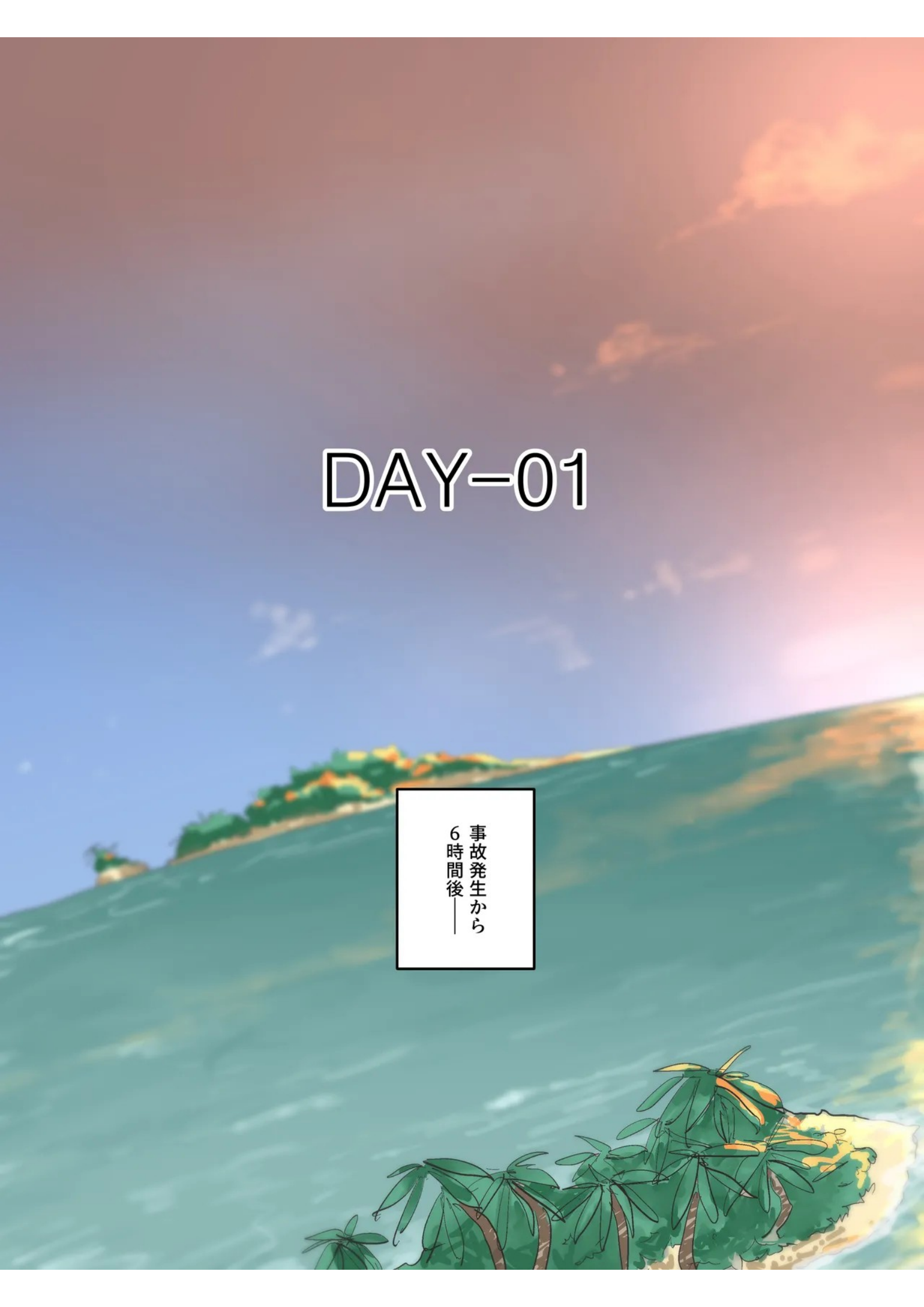


ドドドドド



# DAY-01

事故発生から  
6時間後



まったく  
生きてるってのは  
最高だな…  
だろ？

んっ…でも…  
本当に見たの…？  
嘘じゃないわよね？

間違いねえって…  
木箱に掴まった  
美咲と優斗の二人が  
あっちの島に  
流されてった

はあ…  
はあっ

あ  
あっ

ザ  
ザ

ザ  
ザ

だから  
安心しなって  
アイツらは  
絶対生きてるさ

涼子ちゃん…  
ごめんささい…  
手を離しちゃって…  
無事かしら？  
お願いみんな  
生きてらて…

んう…

かあ…!!  
おばさんの  
Kカップおっぱい  
マジで極上だな…  
もちもちで…  
弾力も最高だぜ…

ムニョ〜

ムニョ〜

なんですって?!  
約束が違うじゃない!

胸を好きに  
させてくれたら  
明日すぐにあの島へ  
連れて行くって…!!

あー…でも  
やっぱ今日は  
無理したからか  
ちと疲れたわ  
回復するには  
ここで一週間は  
休まねえとな?

ゴニョ〜

おばさん  
ウブなんだな  
ククッ

たかが脂肪の塊を  
揉ませただけで  
俺をコキ使うつもり  
だったのか？

クソ野郎...

んっ...  
はま...  
あ...  
あ...

はま...  
はま...

んっ...

あ...

お：乳首ピンピンに  
硬くなってんぜ♥  
ほらここでやめたら  
おばさんも  
物足りねえだろ？♥

スリ...  
スリ...

待ちなさ...

あ...  
あ...  
あ...

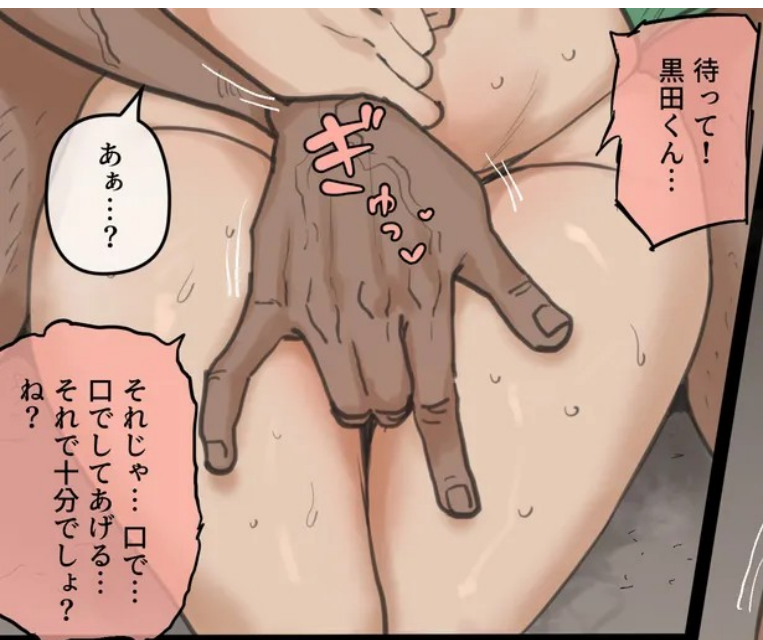
俺は命の恩人だぜ？  
全てを差し出したって  
足りねえくらいなのに  
デカイ乳に反して  
器はちっせえなく

がっ...  
がっ...

あ...  
あ...

いいから  
俺を喜ばせてみる  
俺もそれ相應の  
お返しをしてやる  
ギブアンドテイクが  
俺の信条なんでな

びりびり...



待って!  
黒田くん...

ああ...?

それじゃ...口で...  
口でしてあげる...  
それで十分でしょ?  
ね?



いらねえな

いやっ...



おら...  
さっさと  
股開けよ♥

もう  
びしょ濡れに  
なってるんだろ

あんっ



俺が今  
気になってんのは  
ここなんだよ...♥

んっ

ズ

い

ドキ

あのクソ優斗を  
産んだ  
この場所がな

ドキ



嘘だろ…  
どうして…

こんな  
大きな無人島に  
俺たち3人だけ  
なんて…

俺が旅行なんて  
言わなければ  
こんなことには…



そう！  
美咲の言う通り

私が二人より  
少し遅れて  
島に流れ着いた  
んだから



おばさんも  
近くの島に  
いるはずよ  
きつと…



優斗のせい  
じゃないわ  
おばさまも  
きつと無事よ

だから  
諦めないで  
探しましょう



な...なに？

ポロン♡

この  
大きさ？



悪いけど...  
こんなの  
全部は入らないわ  
半分くらいなら...

バカ言うな  
お前経産婦だろ？  
この穴から  
ガキひりだした  
くせによ

そ...それと  
これとは  
ちがっ...♡  
違うわ!!

マンコ緩めろって  
そんなガチガチじゃ  
入らねえだろ？笑

そんな  
ビビんなよ  
おぼさん  
ククッ

こんな暴力的な  
サイズ...  
初めて見た！

あ...  
あ...  
あ...  
来る...

すぐイかせて  
やるし  
絶対気に入るぜ  
俺のチンコ♡

ドキ♡

ドキ♡

ドキ♡

クチャ♡



ああ… マンコ きつつ!

はあっ もう… これ以上はムリ… 奥届いてるから…

いちいち騒ぐな 黙って俺のチンコ 啜えてろ! 子宮の奥まで エグってやつから

んぐう… ぐんぐん

おおっ

一体どこまで 入ってくるの?

し…子宮が 持ち上げ られてる?!



クソっ… どんだけ締めり ヤバいんだよ このマンコ…

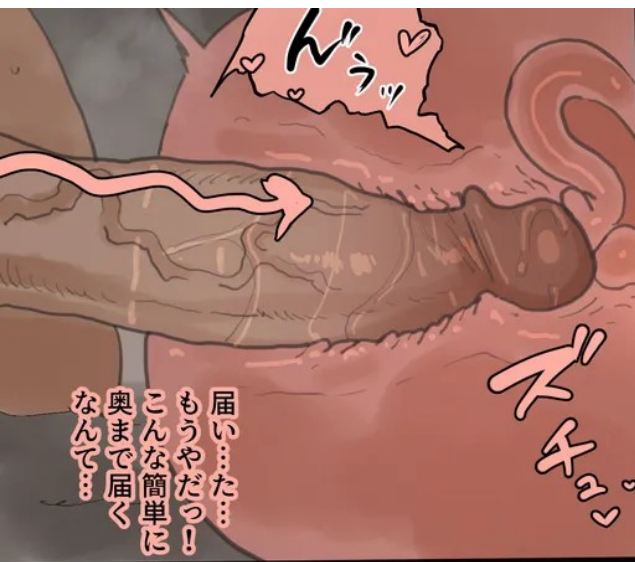
すぐイっちゃ まいそうだ… ああ…

お おお

あん ああ

ぎゃう

どちゃ

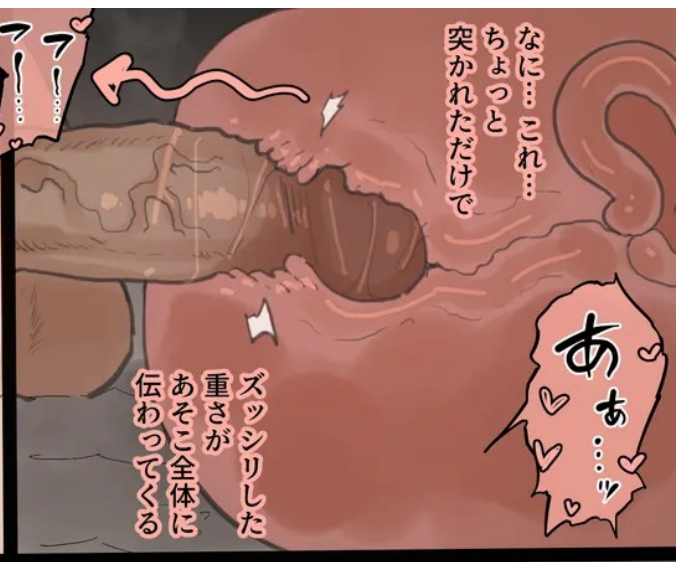


届い…た…  
もうやだっ!  
こんな簡単に  
奥まで届く  
なんて…

ズッ



ああ…  
また入って  
くる…



なに…これ…  
ちよつと  
突かれただけで

ズッシリした  
重さが  
あそこ全体に  
伝わってくる

あぁ…



あーイキそう  
ヤバイわこれ  
気に入った笑

俺のチンコどーよ?  
最高だろ? ん?  
由佳ちゃん彼氏いんの?  
俺の女になれよ

ぽん

ぽん

あぁん

お

由佳ちゃんだなんて…  
気安く呼ばないで!!

ふざけるな!!



ごめん  
由佳ちゃん…  
俺たち別れよう

18歳で優斗を  
身籠ってすぐ  
あの人は  
私たちを捨てた

あの子を快樂の  
おまけかのように  
扱った彼のせいで  
私は男性不信に陥った



そうしているうちに  
女としての自分を  
少しずつ忘れていった

だけど…  
私は幸せだった  
優斗は私の期待を  
遥かに超えて  
すすくと  
よく育ってくれた



私に言い寄ってくる  
数え切れないほどの  
男たち…

男なんて結局…  
皆同じだわ



母さんまだ若いなら  
寂しくないのかなって  
母さんの人生だって  
大事なんだから…

今になって  
ようやく少し  
勇気が湧いて  
きたのに…



私の外見しか  
見てないんだから



えっ？

なによこれ  
おろして!!  
あっ♡

うるせえな  
黙ってマンコ  
締めとけ!

ものすごい力...  
私かなり重いの尻  
オモテや扱  
されてる...

本当に優斗と  
同じくらいの  
歳なの？

この体位で  
やったことある？  
由佳ちゃん♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡

うっ♡

アッ♡

ぬっ♡

やだあ...っ  
こんなの  
耐えられない...  
またイっちゃう

おっ♡

ぽん♡

ぽん♡

あああくる♡  
だめだめだめ♡  
さちやうう♡

だめっ!  
やめてえ!  
お願いっ!

突くたびに  
潮吹いてんじゃん  
ちゃんと水分温存  
しとけよ

アッ♡





おっ  
おっ  
おっ

入れただけで  
イくのかよ笑  
可愛いじゃん  
たまんねえ

ん  
ん  
ん  
ん  
ん  
ん



な?  
言っただろ!!  
俺のチンコ  
絶対に気に入る  
ってな

ああっ...  
精液上がって  
きた!!

出すぞっ!

いやっ!!  
中はだめよ!!

おっ  
おっ  
おっ

ぬ  
ぬ  
ぬ  
ぬ  
ぬ

ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ

あ  
あ  
あ  
あ  
あ

お  
お  
お  
お  
お

もう  
やめ  
やめ  
やめ





はあ...  
最高...♥♥

ア...♥

ア...♥

ア...♥

ア...♥

ア...♥

ア...♥

よしこれで  
救助代は精算完了  
それとついでに...  
明日の島への交通費も  
前払いで貰っておくか

このまま  
日が昇るまで  
やりまくるぞ♥



おら  
掃除しろ

ア...♥

ア...♥

ア...♥

ア...♥

ア...♥

ア...♥

ア...♥



あなたたちこそ  
怪我はない？  
みんな無事で  
よかった

ええ  
大丈夫よ

母さん…  
どうやって  
ここまで？  
怪我はない？

母さん!!  
おばさん!!



な…なんで  
お前が？

母さん…  
どういうこと？



オイオイ  
全員生きてん  
のかよ笑

これぞ  
奇跡って  
ヤツか？



アンタ…!!  
まさかおばさんに  
変なことしてない  
でしょうね?



え…? まさか…  
もし そうだったら  
私も黙ってないわよ

黒田くんは  
見た目より  
ずっといい人  
ってだけ…  
そうでしょ?



黒田くんが  
いなかったら  
お母さん  
どうなってたか…

私を助けて  
ここまで泳いで  
来てくれたの



だったら  
アンタも  
日頃から  
馬鹿な言動は  
慎みな!  
自業自得よ

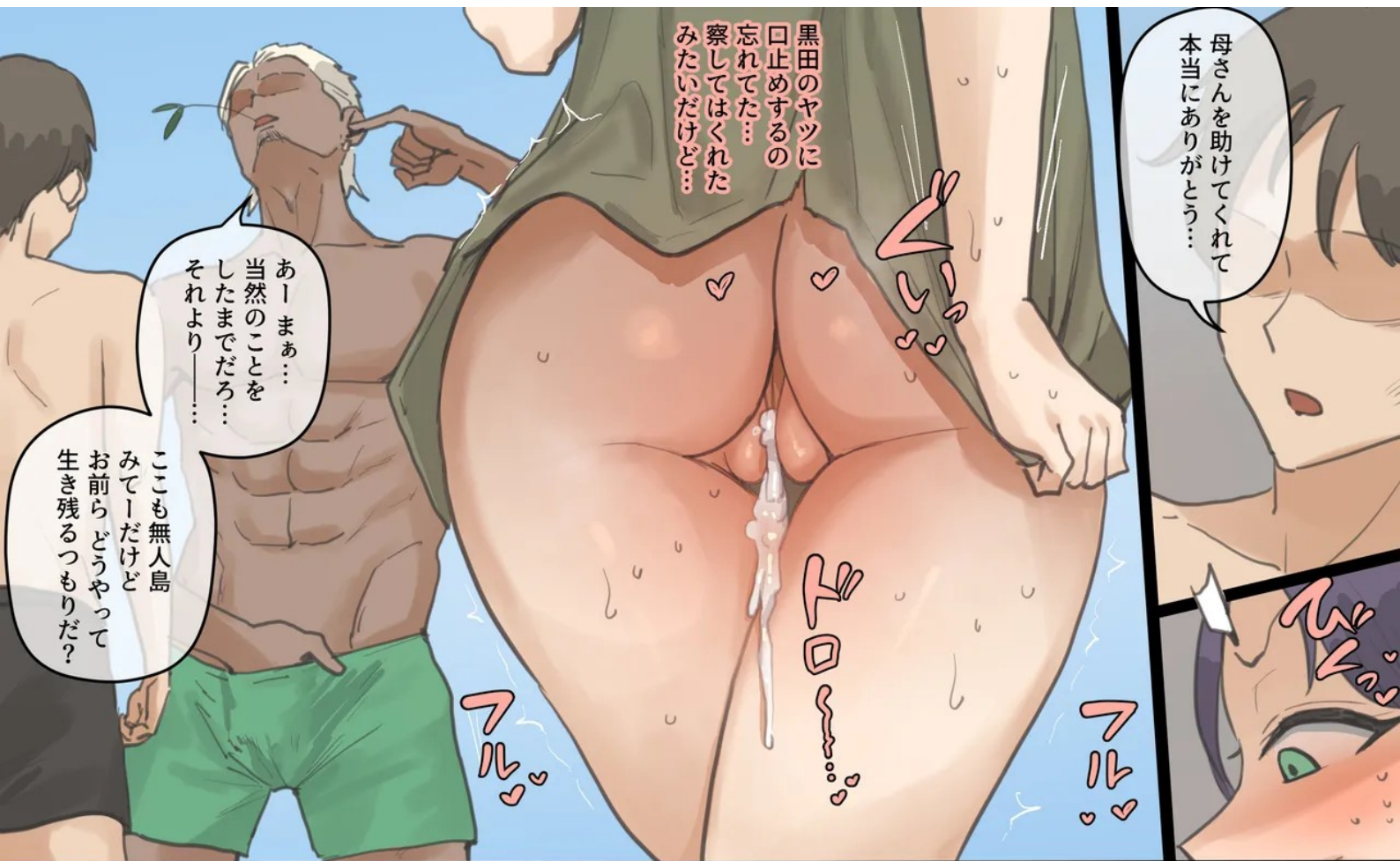
アタシたちと  
過ごすつもりなら  
これからは  
気をつけなさい!!

いや  
黒田の  
言う通りだ



つたく…  
男を見る目が  
あんのは  
一人だけか…

お前らさあ…  
まずは感謝を  
伝えるのが  
人の道理だろ



母さんを助けてくれて  
本当にありがとう...

黒田のヤツに  
口止めするの  
忘れてた...  
察してはくれた  
みたいだけど...

あーまあ...  
当然のことを  
したまてだろ...  
それより...

ここも無人島  
みてーだけど  
お前らどうやって  
生き残るつもりだ?

フル♡

ドキ♡

フル♡



す...すぐ  
救助隊が来るわよ!  
あと少し耐えれば...

はいまだ状況が  
分かってねえ  
マヌケが一人笑

...もし救助隊が  
永遠に来なかつたら?

はあ?  
馬鹿なこと言わないで!!  
今の言葉取り消さない!!

うるせーな  
黙って俺の  
指示に従え

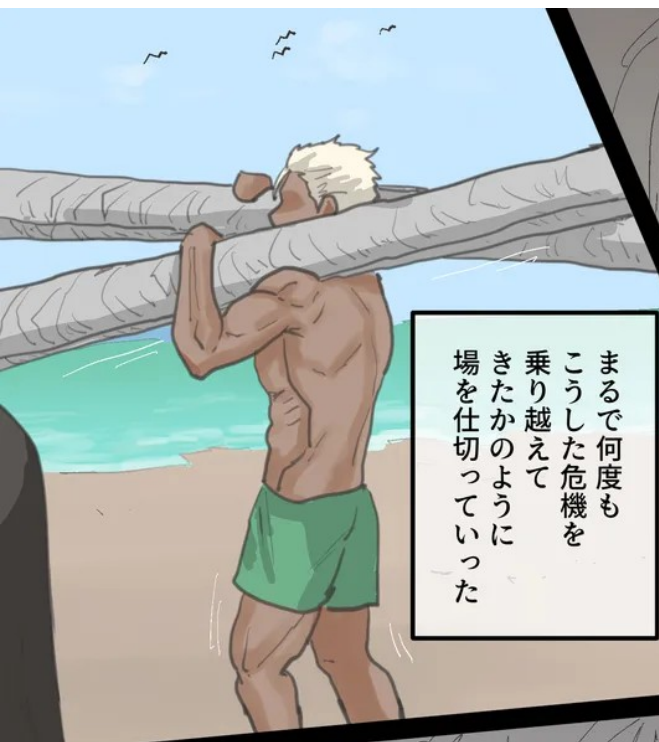
まず  
寝床の確保  
からだ

つ...  
まだ精液が  
垂れてきてる...

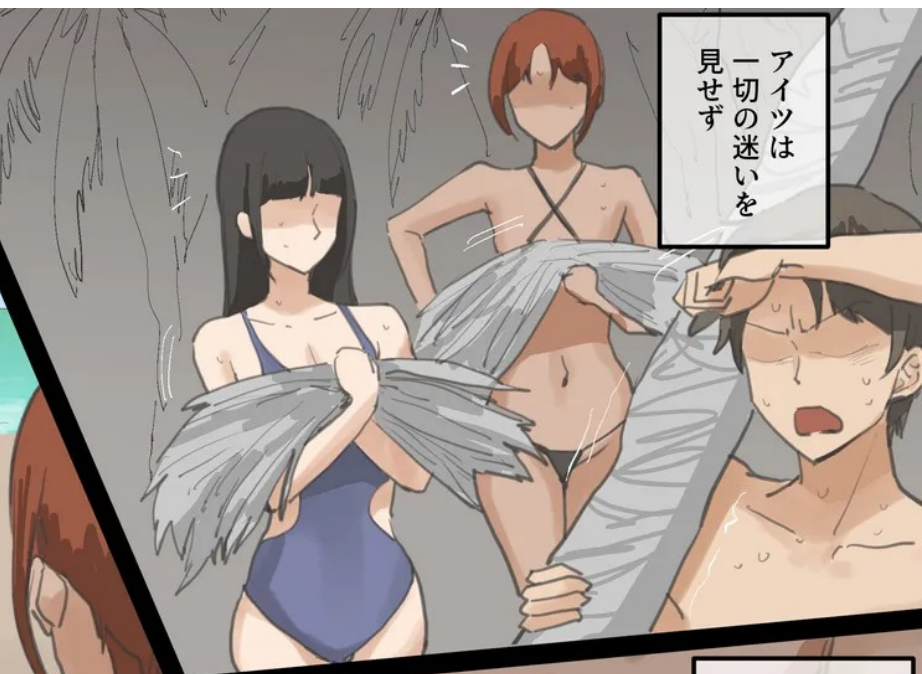
クソ野郎...っ  
どれだけ中で  
出したのよ!!

ドキ♡

フル♡



まるで何度も  
こうした危機を  
乗り越えて  
きたかのように  
場を仕切っていた



アイツは  
一切の迷いを  
見せず



俺が本で学んだ  
知識なんて  
この場所では  
ほとんど  
役に立たない



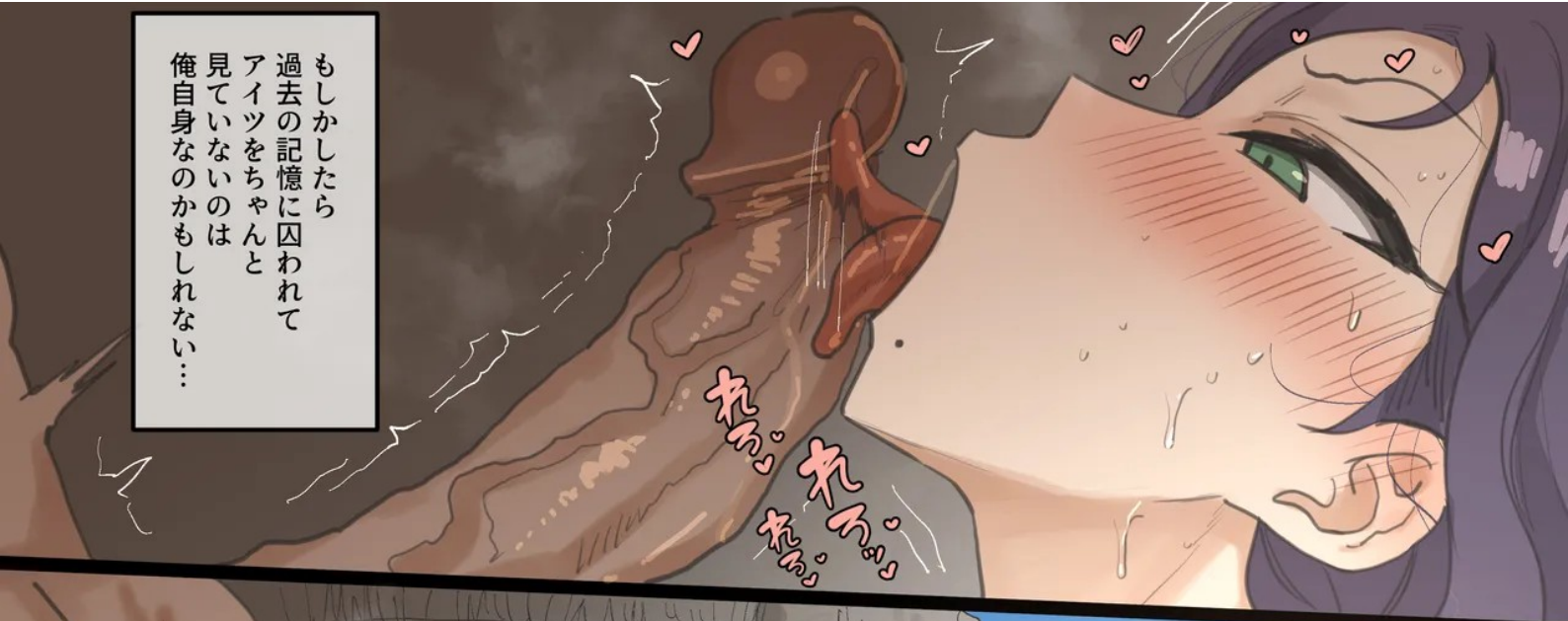
アイツが現れてから  
彼女たちは  
みるみる落ち着きを  
取り戻していった



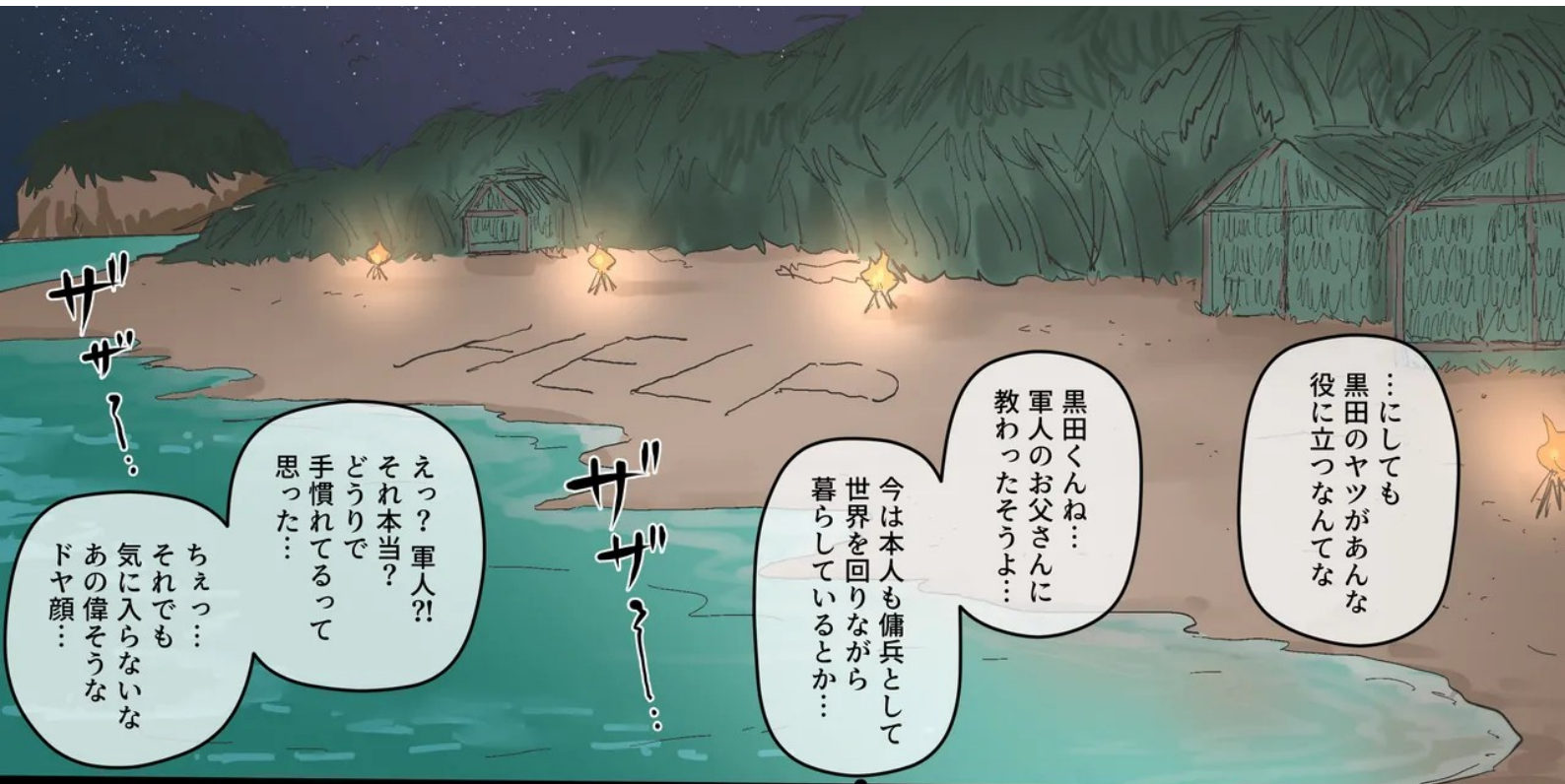
そして俺は  
自分自身について  
改めて考えさせられる  
ことになった



もしかしたら  
過去の記憶に囚われて  
アイツをちゃんと  
見ていないのは  
俺自身なのかもしれない…



アイツは…  
完全に違う人間に  
なって帰ってきた



…にしても  
黒田のヤツがあんな  
役に立つなんてな

黒田くんね…  
軍人のお父さんに  
教わったそうよ…

今は本人も傭兵として  
世界を回りながら  
暮らしているとか…

ザザ？！

えっ？軍人?!  
それ本当?  
どうりで  
手慣れてるって  
思った…

ちえっ…  
それでも  
気に入らないな  
あの偉そうな  
ドヤ顔…



おい優斗…  
これで終わりだと  
思うなよ

いつか必ず  
叩き潰してやる



おばさん  
アタシね…  
ポジティブに  
考えるよ

救助隊が来るまでの  
素敵なバカンスを  
過ごすって  
考えることに…





ザザザ...

ふんっ♡

待ちくたびれたぜ  
アイツらは寝たか？

ほら  
さっさと脱いで  
こっち来いよ♡

うおっ♡  
由佳ちゃんの  
身体エツロ♡♡  
やっぱ10代で  
子供産むだけは  
あるわ

昨日夜通しやって...  
今日は二日中働いたのに  
どんな体力してるの？



私を見るなり  
勃起させて...  
これが若さ  
かしら...

うおっ♡!!



機嫌がいいわけ  
ないでしょ…  
毎日2回も射精  
させてくれなんて  
やりすぎよ…

そんだけ  
由佳ちゃんのこと  
好きってこったよ  
その怒った顔も  
可愛いね♡

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡



トニョ♡

とろ♡

でも昼からずっと  
不機嫌そうだな？  
先に取り引を  
持ちかけたのは  
由佳ちゃんだろ

おお…  
えっろ…♡



初めて会ったときも  
28くらいにしか  
見えなかったぜ？

ドキ♡

…ふん！  
20代だなんて  
バカ言わないで…  
そんなお世辞で  
私が喜ぶとでも？

ぬちゅ♡



心にもないこと  
ばかり  
言わないで！  
大人をからかって  
楽しい？

あ？本気だって  
俺の同年代の  
誰よりもずっと  
若くてキレイだぜ  
由佳ちゃんは

結局ただ私を  
犯したいだけ  
でしょ…

むちゅ♡  
どちゅ♡

私を弄びながら…  
完全に自分のペースに  
巻き込んでる…っ

ほんつと  
生意気なヤツ…

とろ…

ムニョ〜…

…もういいわ  
時間の無駄だし  
さっさとイかせて  
終わらせてやるん  
だから…

れろっ  
れろっ  
ぬぢぢ

れろっ  
ぬぢぢ  
ぬぢぢ

イク時は…  
ちゃんと…っ  
声に出しなさいよ…んっ

これ…  
すげえな…  
おお…

れろっ  
れろっ

くうっ…  
パイズリフェラ  
マジで最高!!

ぬ

る

ぐぽっ  
ぐぽっ  
ぐぽっ  
ぐぽっ

ぬぢぢ  
ぬぢぢ

ぬぢぢ  
ぬぢぢ



このクソ野郎！  
うっ… 精液の匂い…

イク前に言えって  
言ったでしょ!!

飲み込んだじゃった  
じゃないの…っ!



やめて!!  
余計なこと  
しないでっ!

そんじゃ  
本番いくか  
由佳ちゃん♥



えっ?

ああ…  
クソ可愛い  
キスしようぜ♥  
舌だせよ

黒田くん！  
一回セックス  
したくらいで  
私を軽く見ないで

いい？  
はつきり言っておくわ…  
私は優斗の母親なのよ！  
アナタなんかより  
ずっと大人なんだから！

もう二度と気安く  
由佳ちゃんだなんて  
呼ばないで  
おばさんって  
呼びなさい！

約束どおり  
今日2回目の射精  
だったんだから  
私はもう帰るわ

ん？  
そうだったか？  
ああこそ…  
夕方フエラで  
一発抜かれてた  
んだっけな…

じゃあ  
仕方ねえ…♥

えっ？

← ちんぽ  
?!

♡♡♡

射精しないでセックスするしかねえな...

この...っ!  
クソ野郎!!

俺はセックスしねえと眠れねえんだよ  
だからやろうぜ  
由佳ちゃん♥

クリがぶつくり  
勃ってんぞ  
由佳ちゃん♥  
大の大人がそんな  
赤ちゃんみてえに  
泣いていいのか?  
ん?♥

あんっ

クンニなんて  
恥ずかしくて  
死にそう!!!

ああ...っ  
そーだめ...

返事するまで  
止めねえからな♥

おお...

ったく...  
マジで頑固  
だな♥

いやよっ!  
絶対に約束は  
守って!♥

今日は  
だめえっ♥

ああだめ  
もうムリ!!  
イクっ♥  
イっちゃう!!♥

クソっ  
仕方ねえ...  
おらいけっ



イけっ  
!!!!!!

ああ…結局…  
また今日も  
やってしまった

この男のセックスは…  
強引で圧倒的で…  
女を無理やりイかせて  
しまうセックス…

おおお  
おおお  
おおお

死んでも  
認めたく  
ないけど…



長い間  
男を避けてきたせい  
…だけじゃない…  
この男のセックスは  
明らかに他と違う

奥まで満たしてくる  
この男のペニスは…  
抜けたときにこそ  
空っぽになった寂しさを  
思い知らせてくる…

おお  
おお

おお  
おお

毎晩こんな快楽に  
慣らされてしまったら  
絶対に危険…

だから  
今日は耐えようと  
必死だったのに…



今日一日中  
この男とのセックスを  
思い出していた  
優斗と一緒にいるとき  
でさえも…

おお  
おお  
おお

この歳になって  
いくつて感覚を  
初めて知ったくらい  
スゴかったから…